

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-75	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音Ⅱ 308	高校音楽Ⅱ 改訂版 Music View		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通して実現できるように編修しました。様々な楽曲や音楽活動を通して、芸術文化についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばしながら生徒一人一人の豊かな情操や創造性を培うことを目指すよう配慮しました。また、教材や学習内容の設定において、男女の平等や自他の敬愛と協力を重んずる態度、生命を尊び、自然を大切にすることを養うこと、ならびに伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、平和に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。

紙面の例

幅広い知識・
教養を身に付ける



▲p.62 ウィーン古典派時代の芸術文化

個人の価値を尊重して、
能力を伸ばし、創造性を培う



▲p.112 映像と音楽との出会い

豊かな情操を培う

教科書全般

様々な表現や鑑賞活動を通して、豊かな情操と道徳心を培います。

男女の平等、 自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う

あなたはどこに
♪p.11 どじょっこ ふなっこ
♪p.28

主よ人の望みの喜びよ
♪p.88

♪p.11 どじょっこ ふなっこ

女声と男声が協調し合い、豊かな響きを生む混声合唱を取り上げています。『あなたはどこに』の歌詞には相手を思いやる心が描かれています。

♪p.28 あなたはどこに

♪p.88 主よ人の望みの喜びよ

伝統と文化を尊重する態度を養う

羽衣伝説と日本の音楽・芸能

♪p.58 羽衣伝説と日本の音楽・芸能

♪p.58 羽衣伝説と日本の音楽・芸能

生命を尊び、 自然を大切にする態度を養う

いのちへのまなざし

弦楽オーケストラとピアノのための『朱鷺によせる哀歌』op.12 前編 作曲

♪p.70 いのちへのまなざし

♪p.70 いのちへのまなざし

我が国と郷土を 愛する態度を養う

p.80 こきりこ節

p.81 佐渡おけさ

他国を尊重し、 平和に寄与する態度を養う

祈りと音楽

♪p.86 祈りと音楽

♪p.86 祈りと音楽

構成・内容

- 様々な視点から音楽をとらえながら、その背景となる芸術文化についての理解を深め、**幅広い知識と教養を身に付けられるよう教材の選択・配列を工夫**しました。
- 様々な音楽活動を通して、**個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う**とともに、生徒一人一人の**豊かな情操と創造性を培う**ことができるような構成及び内容としました。

教材の選択

- **個人の価値を尊重し、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う**とともに、生徒一人一人の**創造性を培う**ことができるよう教材の選択及び設定に配慮しました。
- 日本や他国の多様な音楽文化にふれながら、**我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う**ことができるよう教材の選択や資料の設定を行いました。
- 時代や曲種等に偏りなく幅広いジャンルの中から教材を選択し、音楽の多様なよさや美しさを感じ取りながら、**伝統と文化を尊重し、豊かな情操を培う**ことができるよう工夫しました。
- 楽曲に込められた思いやメッセージにふれながら、**生命を尊び、自然を大切に**思う心情や、**平和に寄与する態度を養って**いけることができるよう工夫しました。

2. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
愛唱歌 ア・カペラにチャレンジ	• 合唱を通して、生徒同士が心を通わせ、 自他の敬愛と協力を重んじ ながら、音楽活動を進めるよう選曲や学習内容を設定しました。〈第3号〉	p.4～7 p.10～15
ELEMENTS OF MUSIC	• 音楽を形づくっている要素の働きを学ぶとともに、創作活動では生徒一人一人が目的意識をもち、 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培う よう教材の選択と扱いに配慮しました。〈第2号〉	p.16～23

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
TEXT & MUSIC	<ul style="list-style-type: none"> 日本語や様々な国の言語による歌を通して、それぞれの特徴やよさを味わいながら、豊かな情操を培うとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 また、生命を尊び、平和への寄与をよびかけるような楽曲も取り上げました。〈第4, 5号〉 	<p>p.24 ~ 49</p> <p>「あなたはどこに」</p>
DRAMAS & MUSIC	<ul style="list-style-type: none"> 文学や映像作品と音楽のかかわりに焦点をあて、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、多面的に音楽をとらえ、豊かな情操を培うよう配慮しました。〈第1号〉 また、羽衣伝説などの普遍的な古典作品を取り上げ、伝統と文化を尊重する態度を養うことも意図しました。〈第5号〉 	<p>p.50 ~ 61</p> <p>「羽衣伝説と日本の音楽・芸能」</p>
PICTURES & MUSIC	<ul style="list-style-type: none"> 美術作品と音楽のかかわりを、芸術文化の潮流に即して取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うよう配慮しました。〈第1号〉 	<p>p.62 ~ 69</p>
MESSAGE OF MUSIC	<ul style="list-style-type: none"> 生命や社会と向き合った作家に焦点をあて、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、多面的に音楽をとらえ、豊かな情操を培うよう配慮しました。〈第1号〉 	<p>p.70 ~ 73</p>
MUSIC AROUND THE WORLD <ul style="list-style-type: none"> 日本の音楽 世界の音楽 ポピュラー音楽 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国に伝わる楽器や伝統音楽の系譜を学ぶとともに、和楽器を実際に演奏し、その響きや奏法を体験しながら、幅広い知識と教養を身に付け、伝統と文化を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第1, 5号〉 各地の民謡や芸能を取り上げ、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 世界の様々な音楽について、その個々の特徴を知るとともに、その背景となる文化や歴史にふれながら、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。〈第5号〉 ポピュラー音楽のルーツをたどりながら、歴史的、社会的背景にもふれ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うよう配慮しました。〈第1号〉 	<p>p.74 ~ 81</p> <p>「こきりこ節」 「佐渡おけさ」</p> <p>p.82 ~ 89</p> <p>p.90 ~ 95</p>

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
その他 ・西洋音楽史 ・映像と音楽との出会い ・批評文・解説文	・西洋音楽の系譜を様々なできごとなどと絡めて学習し、 幅広い知識と教養を身に付ける よう配慮しました。〈第1号〉 ・映像と音楽のかかわりについて調べたり創作活動を行ったりして、互いに発表し合うことにより、生徒一人一人が目的意識をもち、 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばす ことを意図しました。〈第2号〉 ・生徒が自分の音楽体験を書き記し、互いに発表し合うことにより、 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばす ことを意図しました。〈第2号〉	p.104～111 p.112 p.113

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

・カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面

色覚特性を踏まえた、判読しやすい配色や表示の工夫により、すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。

・環境にやさしい教科書

教科書の印刷には再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。

・見やすさに配慮した紙面

判型は「A4」を採用し、楽譜、文字、写真、図表などの見やすさに配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

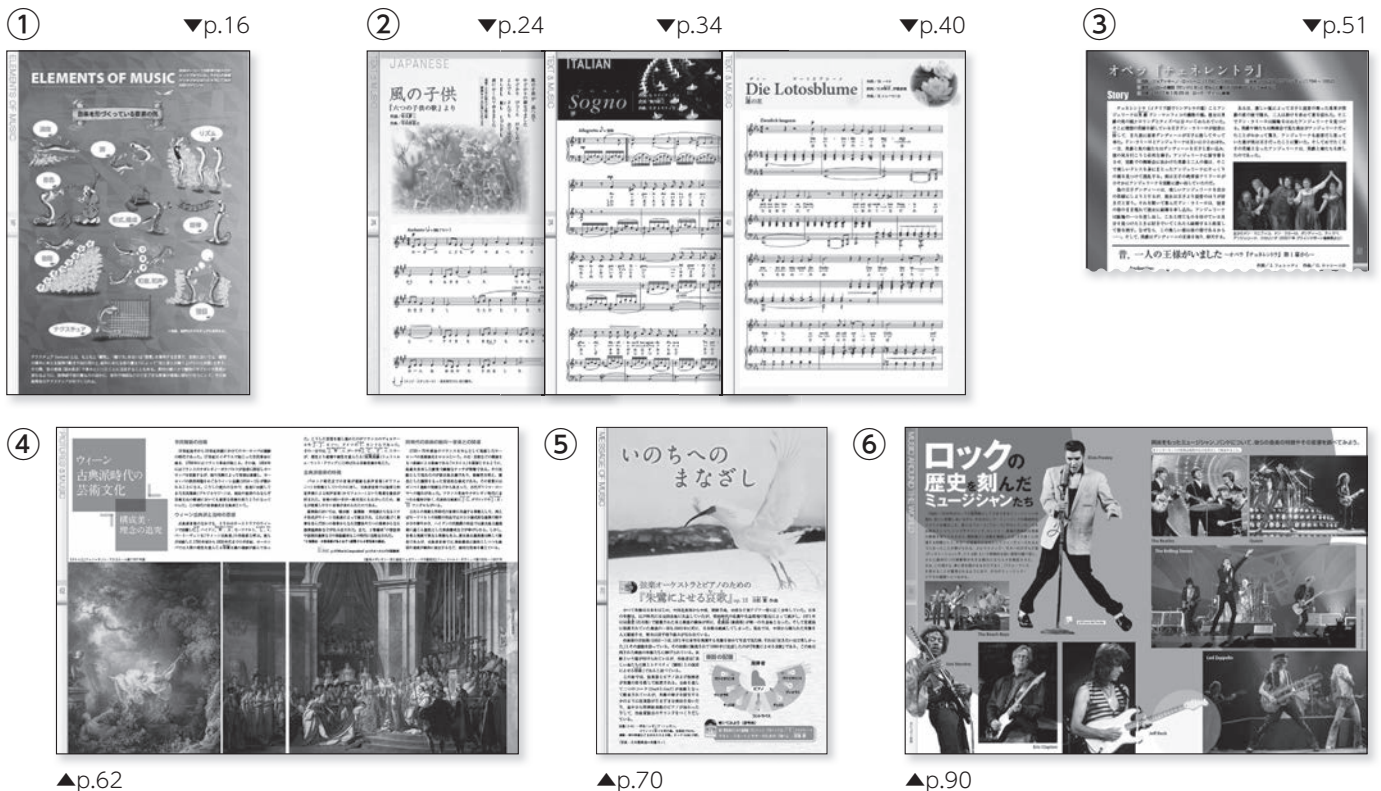
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-75	高等学校	芸術	音楽Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音Ⅱ 308	高校音楽Ⅱ 改訂版 Music View		

1. 編修上特に意を用いた点や特色


本教科書の六つのセクション

音楽を様々な視点からとらえながら、楽曲そのものだけでなく、その背景となる芸術文化についての理解も深めていくことができるように、①「ELEMENTS OF MUSIC」、②「TEXT & MUSIC」、③「DRAMAS & MUSIC」、④「PICTURES & MUSIC」、⑤「MESSAGE OF MUSIC」、⑥「MUSIC AROUND THE WORLD」の各セクションを設け、それぞれのテーマに沿って教材や学習活動を選択、設定しました。また生涯学習を視野に入れながら、生徒一人一人の感性を高め、意欲を喚起するとともに、生徒が自ら考える主体的な学習や、個性を生かした創造的な音楽活動を展開していくことができる構成及び内容としました。

紙面の例



セクション	教材内容
ELEMENTS OF MUSIC	音楽を形づくっている要素とその働きを知覚するとともに、それら进行操作しながら、自分たちのイメージをもとに指導要領に示された各種の創作活動を行うことができるよう配慮しました。
TEXT & MUSIC	日本語や様々な国の言語の特性にふれ、言葉と音楽の結び付きによる効果や詞に込められた作者のメッセージなどを感じ取りながら、音楽活動を行うことができるよう配慮しました。
DRAMAS & MUSIC	文学、映像作品などと結び付いた様々な音楽作品を紹介し、音楽が他芸術と結び付きどのような効果をもたらしているか、また時代を超えた普遍的なテーマや題材により、様々な芸術作品が生み出されていることにも着目しながら音楽活動を行うことができるよう配慮しました。
PICTURES & MUSIC	美術や音楽などが連動しながら芸術文化を形成した特徴的な時代や潮流を、実際の絵画作品などを掲載しながら紹介し、その背景を知ることによって、より深く音楽に向き合うことを目指しました。
MESSAGE OF MUSIC	【いのちへのまなざし】【音楽に秘めた心】をサブテーマに、生命や社会と向き合った作家とその作品に着目し、作者の想いや歴史的な背景を紹介するとともに、当時の新聞記事などの資料を掲載しました。
MUSIC AROUND THE WORLD	このセクションは【日本の音楽】【世界の音楽】【ポピュラー音楽】の三部で構成されています。我が国や世界の各地域にはどのような音楽や楽器があり、それらはどのような特徴をもっているか、どのような関連をもっているかなどを地図や年表、イラストを用いて一覧できるよう工夫しました。また、和楽器の箏、三味線は基礎的な奏法や練習曲を示し、民俗音楽では声や楽器を用いてアンサンブルで演奏してみることができるよう表現活動も重視しました。生徒にとって身近な【ポピュラー音楽】では形成の過程を社会的背景に照らして丁寧にふれました。
各種コーナー及び資料ページなど	<p>【愛唱歌】，【ア・カペラにチャレンジ】 p.4～15…本教科書の導入部分で、歌い合わせる楽しさや声の響き合いのよさや美しさを味わえるよう工夫しました。また、そのための基礎的な発声へのガイドも示しました。</p> <p>【アンサンブル◆ギター】 p.96～99，【アンサンブル◆リコーダー】 p.100～103…楽器の手ほどきや簡単な二重奏、三重奏のアンサンブル曲を掲載しました。</p> <p>【批評文・解説文】 p.113…音楽を聴いて感じ取ったこと、感動した体験などを言葉で記し、互いに発表し合う活動を設けました。</p> <p>【西洋音楽史】 p.104～111…各種図版を入れながら、音楽以外の様々な社会事象も絡めてわかりやすく示しました。</p>
	<p>各種資料ページ… 楽典、楽器の音域表と配置例、作曲家年表、音楽史と史実、リコーダー運指表、ギター&キーボード・コード表などの資料を豊富に掲載しました。</p>

セクション	教材内容
その他	 → 楽曲や学習事項などが関連しているページを示すマークを設け、学習内容が定着するよう工夫しました。 参考鑑賞曲→より深く、また広がりをもって学習が展開するように、学習内容に関連した鑑賞曲を適宜示すようにしました。

2. 対照表

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞					
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ		
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ						
		曲想を理解し、イメージをもって歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	曲想を理解し、イメージをもって演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	音階を選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音を付けて、創造的につくること。	音階を選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音を付けて、創造的につくること。	音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照など構成を工夫して、創造的につくること。	音楽材の特徴を生かし、反復、変化、対照など構成を工夫して、創造的につくること。					音楽を形づくっている要素と働きを理解してつくること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して鑑賞すること。
365日の紙飛行機	p.4～5	○	○																
糸	p.6～7	○	○																
豊かな歌声のためのエクササイズ	p.8～9			○	○														
Ding dong! merrily on high	p.10	○	○	○	○														
どじょっこ ふなっこ	p.11	○	○	○	○														
My Old Kentucky Home	p.11	○	○	○	○														
ほたるこい	p.12～13	○	○	○	○														
Grandfather's Clock	p.14	○	○	○	○														
スキヤットによる「茶色の小びん」	p.15	○	○	○	○														
創作	p.16～23									○	○	○	○						
風の子供	p.24～25	○	○	○	○														
落葉松	p.26～27	○	○	○	○														
あなたはどこに	p.28～29	○	○	○	○														
Yesterday once more	p.30～31	○	○	○	○														
Nowhere Man	p.32～33	○	○	○	○														
Sogno (夢)	p.34～35	○	○	○	○														
La donna è mobile (女心の歌)	p.36	○	○	○	○														
An die Musik (音楽に寄す)	p.38～39	○	○	○	○														

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞			
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ				
		曲想を理解し、イメージをもって歌うこと。	曲種に応じた発声の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による歌唱の特徴を理解し、表現を工夫して歌うこと。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	楽器の音色や奏法の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現を工夫して演奏すること。	音階を選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音を付けて、創造的につくること。	音階を選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音を付けて、創造的につくること。	音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照など構成を工夫して、創造的につくること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解してつくること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解してつくること。	声や楽器の特徴と効果とのかかわりを理解して鑑賞すること。	音楽を形づくっている要素と働きを理解して鑑賞すること。	楽曲の文化的・歴史的背景や、表現の特徴について理解を深めて鑑賞すること。	我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴について理解を深めて鑑賞すること。
Die Lotosblume (蓮の花)	p.40～41	○	○	○	○												
Après un rêve (夢のあとに)	p.44～45	○	○	○	○												
Hymne à l'amour (愛の讃歌)	p.46～47	○	○	○	○												
草原情歌	p.48	○	○	○	○												
고향의 봄 (故郷の春)	p.49	○	○	○	○												
シンデレラ	p.50													○	○	○	
昔、一人の王様がいました	p.51	○	○	○	○												
A Dream Is A Wish Your Heart Makes	p.52～53	○	○	○	○												
オペラ『ドン・ジョヴァンニ』	p.54													○	○	○	
手をとりあって	p.55	○	○	○	○												
ニュー・シネマ・パラダイス	p.56～57					○	○	○	○					○	○	○	
羽衣伝説と日本の音楽・芸能	p.58～59													○	○	○	○
能『羽衣』から上歌	p.58～59	○	○	○	○												
ラーマヤナ物語と芸能	p.60～61													○	○	○	
交響曲 第7番 イ長調 op.92 (L.v.ベートーヴェン)	p.64													○	○	○	
『交響曲 第7番』から第2楽章 (L.v.ベートーヴェン)	p.65					○	○	○	○								
『12の練習曲』から第12番 ハ短調『革命』 op.10-12 (F.ショパン)	p.67													○	○	○	
バレエ音楽『パラーダ』 (E.サティ)	p.69													○	○	○	
弦楽オーケストラとピアノのための『朱鷺によせる哀歌』 op.12 (吉松 隆)	p.70～71													○	○	○	
交響曲 第5番 二短調 op.47 (D.ショスタコーヴィチ)	p.72～73													○	○	○	
雅楽『越天楽』／声明『散華』／箏曲『六段の調』／能『安宅』／歌舞伎『連獅子』／平曲『那須与一』	p.74～75													○	○	○	○
六段の調～初段～	p.76					○	○	○	○								
『もののけ姫』から	p.77					○	○	○	○								
松の緑～前弾～	p.78～79					○	○	○	○								

	該当箇所	A 表現												B 鑑賞			
		(1) 歌唱				(2) 器楽				(3) 創作				ア	イ	ウ	エ
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ				
『管弦楽のための木挽歌』から	p.79					○	○	○	○								
こきりこ節	p.80	○	○			○	○	○	○								
佐渡おけさ	p.81	○	○			○	○	○	○								
ジョージアの男声合唱 (ジョージア) ポリネシアのヒメネ (ポリネシア) 布農族の合唱 (台湾) ドゥルパド (北インド) ムガーム (アゼルバイジャン) 江南絲竹 (中国 江南地方) トーキング・ドラム (ナイジェリアほか) サイン・ワイン (ミャンマー)	p.82～83													○	○	○	
一本の大きな木	p.84	○	○	○	○												
Agbekor (アグベコー)	p.85					○	○	○	○								
祈りと音楽	p.86～87													○	○	○	
主よ人の望みの喜びよ	p.88～89	○	○	○	○	○	○	○	○								
(I Can't Get No)Satisfaction	p.92～93	○	○	○	○												
We Are The Champions	p.94～95	○	○	○	○												
Start Up! Playing the Guitar	p.96						○										
なごり雪	p.97	○	○			○	○	○	○								
「Heart and Soul」による ギター・エチュード	p.98					○	○	○	○								
「これは何とすばらしい響きだ…」 によるギター・エチュード	p.98					○	○	○	○								
Love Me Tender	p.99					○	○	○	○								
タラのテーマ	p.100					○	○	○	○								
風の谷のナウシカ ～エンディング～	p.101					○	○	○	○								
風たちの会話	p.102					○	○	○	○								
5月の夢の歌	p.103					○	○	○	○								
史跡でたどる西洋音楽史	p.104～109													○	○	○	
映像と音楽との出会い	p.112									○	○	○	○				
音楽の魅力を言葉で伝えよう	p.113													○	○	○	